

改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを胸に刻む 戦没者並びに公務殉職者追悼式

4月26日、町武道館で、遺族など関係者約250人が参列し、戦没者並びに公務殉職者追悼式が開催されました。

式では、国歌斉唱と1分間の黙とうを行い、町長らが追悼の言葉を述べた後、遺族会長ら代表者が献花。1141柱のみ霊を慰めました。

町慰霊祭協賛会富高康雄会長は「町民の深い理解と協力をいただきながら、引き続き支援していきたい」とあいさつしました。



あこがれる選手へ 第33回町スポーツ少年団結団式

4月25日、自然休養村管理センターで、町スポーツ少年団(佐藤幸男本部長)の結団式が行われました。

式には、6種目11団体の団員と指導者、育成会らが参加。代表の神都JVCへ認定証が渡され、各団旗にリボンが授与されました。団員を代表して、高千穂少年剣道クラブの甲斐湊朗さんが誓いのことを述べ、高千穂松濤館の佐保和弘さんが指導者代表宣誓を読み上げました。



安全な観光地づくり 高千穂峡観光安全祈願祭が開催

4月17日、ゴールデンウィークを前に、高千穂峡のあららぎ乃茶屋前広場で、高千穂町観光協会(竹尾通洋会長)の観光安全祈願祭が行われました。

式典には、関係者約50人が出席。代表者による玉串奉納の後、竹尾会長と藤本副町長が、五ヶ瀬川へ献酒しました。

竹尾会長は「災害がいつ起きるか安心はできない。今年1年、1件の事故もないようご支援賜りたい」とあいさつしました。



高千穂高校に美術教師としても勤務 石井秀隣展を開催

3月23・24日、真名井オフィス2階多目的ホールにて、みやざき総合美術展絵画部門無鑑査の画家、石井秀隣(ひでと)さんの絵画展が行われました。

石井さんは、昭和32年から38年まで高千穂高校に美術教師として勤務。5年前に町へ絵画10点を寄贈されており、今回、さらに13点を寄贈しました。

23日は、オープニングセレモニーとして石井さんが来場。作品の解説などをしました。



まらり高千穂人



「地域学校協働活動」推進
宮崎県教育長表彰

工藤義昭さん(黒口)が、令和5年度「地域学校協働活動」推進の宮崎県教育長表彰を受賞しました。

工藤さんは、黒口地区棒術保存会の指導者として、長年、上野小学校児童へ棒術を指導。運動会や文化発表会、神社の祭りで披露することが伝統となり、児童らの伝統芸能への関心や引き継ぐことの大切さ、ふるさとへの未来について考える機会を与えるなど、地域と学校が連携・協働する取り組みが評価されました。



スポーツ推進委員
功労者表彰

興梠晃さん(中西)が、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合会阿達雅志会長の令和5年度30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞しました。

興梠さんは、平成5年に町体育指導員として、陸上を主に、ミニバレーボールやゲートボールなど各種競技の指導と普及に貢献。郡スポーツ推進委員協議会会長や県スポーツ推進委員協議会理事長を歴任するなど、県内の委員の資質向上などにも尽力されています。

多くの人に支えられ感謝 高千穂ファーマーズスクール修了式

4月19日、高千穂ファーマーズスクールの修了式が、役場大会議室で行われました。

式では、第一期生として入講し、2年間の研修を終えた佐々木有子さんに、甲斐町長から修了証が手渡されました。

佐々木さんは「多くの人に出会い支えられてきたことに感謝。5年後の経営安定を目標に、品質の高いものを作る。失敗を糧にできるようタフな花農家になる」と決意しました。



観光客や見物客でにぎわう 高千穂神社春季例祭を斎行

4月16日、高千穂神社(後藤俊彦宮司)で、春季例祭が行われました。

午前中、神社で神事が執り行われ、正午から神楽や棒術などの御神幸が「浜下り」のため高千穂峡に向け出発。神輿を担ぐ男衆が「おのころ池」へ入り「おのころ島」を時計回りに3周し身を清めました。

神社へ戻ると余興隊とともに真名井交差点までを往復。沿道の見物客をにぎわしました。

